

# かけはし

会報92号 発行:特定非営利活動法人全国LD親の会 発行人:井上 育世  
 事務局:〒 151-0053 東京都渋谷区代々木2-26-5 バロール代々木415  
 TEL/FAX:03-6276-8985 E-MAIL:jimukyoku@jpald.net URL:<http://www.jpald.net/>



## 第14回総会 および 第20回公開フォーラムのご案内

第14回総会および第20回全国LD親の会公開フォーラムを下記の日程で行います。総会議案書・議決権行使書等は5月上旬に、各会あてにメールにてお送りいたします。なお、研修会・懇親会・青年の交流会は、残念ながら中止いたします。

### ●第14回総会(書面表決書 or 委任状)

日 時 : 2021年6月26日(土)12:30~14:00  
 会 場 : 大阪府男女共同参画・青少年センター  
 (ドーンセンター)中会議室  
 アクセス: 大阪市中央区大手前1丁目3-49  
 Osaka Metro(旧大阪市営地下鉄)谷町線  
 「天満橋」駅①番出口から東へ350m

### ●第20回全国LD親の会公開フォーラム

#### (オンライン&録画配信)

##### 「発達障がい児の育ちと学びを支える ~家庭と教育と福祉の連携・協働に必要なこと~」

日 時 : 2021年6月27日(日)10:20~16:30  
 参加費 : 一般 2,500円 会員 1,500円  
 開催形式 : リアルタイム配信+録画配信  
 共 催 : 大阪LD親の会「おたふく会」

支援が必要な子どもやその保護者が、乳幼児期から学齢期、社会参加に至るまで、地域で切れ目なく支援が受けられるよう、文部科学省と厚生労働省の両省による家庭と教育と福祉の連携「トライアングル」プロジェクトが進められ、個別の支援計画の活用促進が挙げられています。「個別の教育支援計画」が作成される場合、保護者や医療、福祉、保健、労働等の関係機関が連携して、しっかりと作成されることが大切です。

今回の公開フォーラムでは、多くの学びの場に関わっておられる福祉医療専門職の視点から、新しい時代における発達障害のある子ども達の育ちと学びを支える家庭と教育と福祉が連携した支援のありかたについて話し合いたいと思います。

#### プログラム

- 10:20~10:30 開演挨拶
- 10:30~12:00 基調講演 小田浩伸氏  
 (大阪大谷大学教育学部長教授・  
 特別支援教育実践研究センター長)
- 12:00~13:00 昼休憩
- 13:00~13:30 ミニ講演 辻薰氏  
 (作業療法士・特別支援教育士 SV・  
 大阪人間科学大学保健医療学部教授)
- 13:30~14:00 ミニ講演 北村あかり氏  
 (言語聴覚士・特別支援教育士)
- 14:00~14:30 ミニ講演 庄司真人氏  
 (臨床心理士・学校心理士・  
 特別支援教育士・法華寺住職)
- 14:30~15:00 ミニ講演 黒田尚美氏  
 (スクールソーシャルワーカー・社会福祉士・  
 特別支援教育士・公認心理師)
- 15:00~15:15 休憩
- 15:15~16:25 パネルディスカッション  
 「福祉医療専門職からの提言」  
 上記ミニ講演者4名  
 ファシリテーター:松久眞実氏  
 (桃山学院教育大学人間教育学部教授)
- 16:25 終演挨拶・閉会

※ フォーラムの申込方法は、弊会HPをご覧ください。

### ●研修会・青年の交流会・懇親会は中止します

新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、研修会・青年の交流会・懇親会は残念ながら中止します。



## 第19回 全国LD親の会公開フォーラム 報告

### 全国LD親の会30周年事業 第19回公開フォーラム

#### 「共生社会における多様なコミュニケーション

##### ～発達障害児・者が社会とつながるために～」

日 時: 2021年2月21日(日)9:40～16:00

会 場: 北九州市立商工貿易会館 多目的ホール

共 催: 北九州 LD 等発達障害親の会「すばる」・

福岡発達障がい者親の会「たけのこ」

参加人数: 会場 16名 オンライン 104名

今年度は「多様なコミュニケーション～社会とつながるために」をテーマに基調講演と2つの講演、そしてパネルディスカッションを行いました。コロナ禍の中で密な状態を避けるために、会場からオンラインライブでの中継配信を試みました。講師の先生方にはリモートでご講演いただきました。

**【基調講演】「発達障がいのある人が社会とつながって生きるために」 講師: 西村浩二氏**

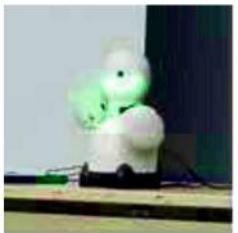
(広島県発達障害者支援センター センター長)

社会とつながって生きていくためには、他者を理解できることが大切で、そのためにはまず本人の自己理解が進むように特性を考慮した対応が重要と説かれました。自己理解に至るまでには、自己効力感(自分に自信が持てる)から自己肯定感(自分が好きになれる)のステップがあり、さらにメンタライジング(自分を外側から見る、他者を内側から見る)についても解説されました。当事者の自己理解の偏りに対する指導ポイントとして、本人の考え方を尊重して気づいていない点、より良い方法を伝え、課題を共有していくことが大切だと話されました。社会とつながる手立てとして、最近では仮想空間でつながることもでき、社会参加の形にこだわってはいけないとこと、本人の考え方、生き方を尊重し、社会とつながる時には本人に無理がなく、「見通しが持てる」「参加することの意味を見出せる」という気づきを促すプロセスを丁寧に進め、よき伴走者となることを心掛けてほしいと締めくられました。難しい心理学などの学術的なことを、体系的に順を追い、ご経験と事例を交え分かりやすく説明して頂きました。この後に登壇されたみなさんの社会につなげていくための、講演に出てくる経験談や行動が西村先生の講話内容にあった、「自己効力感・自己肯定感、課題の共有、そして本人を尊重する」といったキーワードに合致するお話になっていました。

**【講演】「サイボーグ時代の人生戦略～社会参加のための新たなコミュニケーションツール～」**

講師: 吉藤健太朗氏(株式会社オリィ研究所代表取締役)

分身ロボット「OriHime」(オリヒメ)を会場に設置し、吉藤さんは東京から遠隔操作しながら講演されました。吉藤さんご自身が学齢期に不登校を経験され、孤独を感じておられ、小さい頃母親に勧められた折り紙が自信を持つきっかけとなったとのこと。



17歳の時、ロボットコンテストで優勝したことから、国際学生科学フェア(世界大会)に参加し、グループワークメンバーに折り紙を披露し賞賛されたこと、メンバーの「自分はこれ(ロボット開発)をやるために生まれてきた」という一言に感銘を受けたと話されました。その後「孤独の解消に人生をかける」と決心され、分身ロボットを開発し、外出困難な方が社会につながれる環境提供に至る話をされました。外出困難者と社会をつなぐ AVATAR GUILD というホームページも立ち上げ、社会参加の場を提供されています。お話しにあった「自信の5段階」は西村先生のお話にもリンクしていました。

**【講演】「描くということ」 講師: Aju 氏 (アーティスト)**

「言葉は絵が浮かび、数字はさらに色がつくことは誰もが同じだ」と思っていたという Aju(アジュ)さん。大学に入りコミュニケーションがうまく取れない、授業で浮いている、他の学生との差に苛立ち自傷する。さらにアスペルガー症候群の診断を受け、ボロボロになっていた時に永浜先生と出会い、「人と仲良くしなあかんの?」「人とつるむのきらい」という先生の一言で、こんな人でも働けるんだと安心したそうです。ストレスを発散するために裏紙に書いていた絵を褒められ、もらったスケッチブックに書いてあった「Aju は Aju のままでいい、しんどいこともつらいことも一緒に踏ん張っていこう」というメッセージに勇気づけられたとのこと。「本格的に絵に取り組み、絵を通じて自分にとって心地良い社会とのつながり方ができ、自分が体感したことを伝えられることがうれしい。人には色々な見え方、感じ方、考え方があり、大多数の形に自分を当てはめたり、他人を当てはめようとせず、自分にあった生き方を見つけ、また声を発するとその声が届く、そんな人と人の関係が築かれるように」と、お話しされました。



## 【パネルディスカッション】「社会とつながる方法」

報告1 永浜明子氏(立命館大学 准教授)

報告2 永井弘明氏(全国LD親の会理事)

報告3 大曲千代子氏(北九州親の会「すばる」)

話題提供として、永浜先生は、Ajuさんとの出会いから関係が、一方向の関係から現在の共歩へ変化していく経緯を紹介されながら、マジョリティに合わせようとして傷ついていたAjuさんの気持ちに寄り添い、一人で抱え込まないように、「しんどいことはおそらくわかる」と声をかけ、特性の理解に努め、そして一番困っていることから認識の共有を進めてきたとのことでした。「そのためにAjuさんに関するることは全て隠さずにとことん話し合い、その際のポイントは比較しない、否定しない、具体的に、視覚化することです。」と話されました。傷つける人や社会とはつながる必要がなく、Ajuさんが違うのではなく、Ajuさんと私が違うだけ、違って当たり前の二人の関係性を常に模索しているとおっしゃっていました。

永井さんは、息子さんの社会活動を通じて、本人が家族や社会から頼られる環境づくりについてお話しされました。息子さんの成長過程として、幼児期と就職時期が大変だったこと、本人の特性は強弱の変化はあるけど、基本特性は変わらないこと、経済的な安定より精神的な安定を優先してきたと振り返られました。また、本人の能力を生かすためには、特性を理解する、社会に役立っている・期待されている気持ちになるよう配慮する、周囲の人が寛容になる、他人と比較しない、そして自信を持たせることが大切とのことでした。さらに、家族も自己実現のため息子さんに家の仕事を任せることで、やりたいことができていると話されました。仕事で生きがいを持つことは難しいが、「家族や周りの人から頼りにされることが生きがい」と言う息子さん、「このような幸せもあるのです。」と締めくられ、胸が熱くなる思いでした。

大曲さんは、余暇活動を通して社会とつながっていけるよう、親の会に子ども達の余暇活動のための会を立ち上げ、活動支援を継続して行ってきた中で、「子ども達の手際が良くなり、周りを見て動く、他のメンバーを手伝う、意見を出し、積極的になるといった変化を感じている。余暇を使った活動は人を成長させるエッセンスがあり、人を動かす大きな力を秘めている。」とお話しされました。



ディスカッションでは、進行役の西村先生と各パネラーを交え、活発な意見交換がなされました。

- ・ 社会・マジョリティという実態は見えない、これを意識してしまうことで生きづらくなることがある。社会とのつながり、自分が自分らしくあるためには周りの人のことも尊重する。そして一緒にいる人とよい関係性・共通項を見つけることが大切とコメントされました。
- ・ 支援する人は特性を理解し寛容に接すること、親は子どもを信頼できる人に育てて欲しい。
- ・ 余暇活動の成功体験は自信となり、更なるチャレンジに繋がっている。自己効力感・自己肯定感が本人の次への意欲を高めている好事例とコメントされました。

最後に親亡き後については、困っていることを定義づけ認識させて、行政とつながること、事前に親がいない状況を体験させる提案もありました。「親亡き後」は切実であり、全国LD親の会でも取り組んで欲しいと感想もいただきました。

北九州から、初めてのオンライン開催で、ハラハラドキドキでしたが、無事終了することができました。「遠方にいても参加できた、集中して聞けた。」等の感想もいただきました。準備から当日の運営まで、北九州親の会「すばる」の皆様に大変お世話になりました。ありがとうございました。

## 【参加者の感想(アンケートより)】

- ・ Ajuさんの感覚や思考を本人の言葉で聞くことができ、子どもの理解に役立つこと満載でした。また、吉藤さんの思いや活動は子ども達にとって明るいニュースでした。社会と繋がっていくには、まだ障壁は高いですが、子ども自身や環境の土台をしっかりと作ることができたら壁は低くなり、乗り越えていけると再認識できました。
- ・ 本人が安心して自分の気持ちを話せる人が必要。本人がとても傷ついて社会を拒絶しても、誰かが本人に寄り添ってあげれば、その人を通じて、いつか社会とつながることができる。まずは、相談員と支援員の育成増員。そして、本人が活動できる場の確保。
- ・ 社会が、こんな人もいるんだと認めてくれれば、孤立することはない気がします。多様性を認めることでしょうか。空気を読んで、人と同じでなければいけないという社会の雰囲気を変えてほしい。



日本郵便 年賀寄付金

第19回公開フォーラムは、  
2020年度日本郵便年賀  
寄付金の助成を受けて  
開催しました。

**ビデオ講座****2021年度 特別支援教育支援員養成講座**

会場での講座開催が難しい中、特別支援教育支援員養成講座をどのように続けていくか検討していましたが、2021年度は学習支援員コースをビデオ配信する形式で開催することにしました。受講していただく方にオンライン環境が必要になりますが、会場開催ではありませんので、各講座の配信期間中、ご都合に合わせて受講していただけます。

**＊＊＊カリキュラム(予定)＊＊＊**

- |                          |                                       |
|--------------------------|---------------------------------------|
| 1、特別支援教育概論               | 竹田契一先生(大阪教育大学名誉教授、大阪医科大学 LD センター顧問)   |
| 2、主な障害の特性と理解(1)(2)       | 花熊暁先生(関西国際大学教育学部教育福祉学科教授)             |
| 3、学校・学級での支援の仕方           | 小田浩伸先生(大阪大谷大学教育学部長教授・特別支援教育実践研究センター長) |
| 4、子どもへの対応の基本             | 筈廣みさき先生(一般社団法人発達支援ルームまなび理事)           |
| 5、子どもの特性と対応方法(1)(2)      | 松久眞実先生(桃山学院教育大学教育学部教授)                |
| 6、子どもの特性と対応方法(3)(4)      | 伊丹昌一先生(梅花女子大学心理こども学部心理学科教授)           |
| 7、子どもの特性と対応方法(5)         | 小田浩伸先生(大阪大谷大学教育学部長教授・特別支援教育実践研究センター長) |
| 8、ペアレンツ・トレーニングの視点        | 米田和子先生(NPO 法人ラヴィータ研究所理事長)             |
| 9、特別支援教育コーディネーターからのレクチャー | 今村佐智子先生(桃山学院教育大学学生支援センター カウンセラー)      |
| 10、学習面の困難とサポート方法(1)(2)   | 村井敏宏先生(青丹学園発達・教育支援センター フラーテル L.C.所長)  |
| 11、学習面の困難とサポート方法(3)      | 栗本奈緒子先生(大阪医科大学 LD センター言語聴覚士)          |
| 12、学習面の困難とサポート方法(4)      | 山田充先生(広島県廿日市市教育委員会特別支援教育アドバイザー)       |

※ 詳細が決まりましたら、弊会 HP に掲載します。

**アジア太平洋ディスレクシアフォーラム 2020 In 岡山 (2021開催)のご案内**

**テーマ :**すべての人に質の高い教育を！アジア太平洋におけるディスレクシアとインクルーシブ教育

**日時 :** 2021年5月8日(土)10:00～17:30

5月9日(日)9:00～18:00 同時通訳あり

**会場 :** 岡山コンベンションセンター

岡山市北区駅元町14番1号

**チケット :** 一般 6,000 円 ・学生 3,000 円

通訳端末別途 1,500 円

オンライン 一律 6,000 円

**参加形態 :** 会場参加 ・ オンライン参加

**主催 :** APDF2020実行委員会(委員長 藤堂栄子)

**共催 :** APDF2020 IN 岡山実行委員会

**お申込みはこちから**

<https://apdf2020-2021.peatix.com>

※すべてのセッションはライブ配信及び一週間アーカイブで視聴できます

**お問い合わせ:**

<https://www.npo-edge.jp/event-lecture/apdf/>

**プログラム**

5月8日(土)

10:30 基調講演 「基礎から学ぶディスレクシア」  
若宮英司氏(藍野大学)

12:30 シンポジウム①  
「通常の学級での ICT による合理的配慮」  
14:15 岡山企画①  
「岡山における教育のこれまでとこれから  
～特別支援教育推進プランと実践～」

16:00 岡山企画②  
「岡山における医療・教育・福祉の取り組みと連携」

5月9日(日)

9:00 シンポジウム②-1  
「早期発見、早期介入 システム作り」  
10:40 シンポジウム②-2  
「専門性の向上(教員の教育)」  
13:30 シンポジウム③  
「インクルーシブな教育とディスレクシア」  
14:45 シンポジウム④  
「2E(twice-exceptional):ディスレクシア当事者の才能を活かす」  
16:30 ラウンドアップ 「これからのアジア太平洋におけるインクルーシブ教育とESD」



## 一般社団法人 日本発達障害ネットワーク（JDDネット）より

日本発達障害ネットワーク（JDDnet）は、発達障害関係の全国および地方の障害者団体や親の会、学会・研究会、職能団体などを含めた幅広いネットワークです。発達障害のある人およびそのご家族の権利と利益の擁護者として、理解啓発・調査研究・政策提言等を行い、発達障害のある人の自立と社会参加の推進に向けて活動を行っています。

令和元年度から、文部科学省・厚生労働省・国立特別支援教育総合研究所・国立障害者リハビリテーションセンターが連携して「発達障害に係る教員や支援者の専門性の在り方等に関する検討会議」を設置し、発達障害者支援に係る教員や福祉関係者が連携・協働して支援を行うために身につけるべき専門性を整理するとともに、人材育成のための研修コアカリキュラム案について検討してきました。この検討会議に、JDDnet 理事の立場で、全国 LD 親の会が委員として参加しています。

3月14日 JDDnet の理事会が開催されました。議題は、方針案・予算案・定款の一部改訂でした。

- ・方針案について…基本的に前年を踏襲し、Zoomによる学習会が好評のため、これを充実させる。
- ・政策要望について…強度行動障害を取り上げたい。
- ・予算案…100万円程度の赤字予算。積立金より充当。
- ・定款の一部変更…いずれもオンライン（zoom）の会議を集合の会議と同等にする。

理事会終了後、株式会社ジヨーリーグッドによる仮想空間ビーカー（VR）を活用した SST プログラム emou（エモウ）の説明がありました。ゴーグル型の機器をジョーリーグッド社と WiFi 接続してデモが行われました。emou の詳細については (<http://emou.jp/>) をご参照下さい。

にじの会（神奈川）では、6月に emou のデモを計画しております。結果に関しましては情報共有致します。

## 全国特別支援教育推進連盟 より

例年12月に開催される全国特別支援教育振興協議会は、令和2年度はコロナ禍にて中止となりました。新年度は令和3年12月3日に国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催予定。会場参加数を少なくし、リモートで開催を検討していくそうです。

令和3年2月5日の第4回理事会は、リモートで初めて開催することが出来ました。文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 八田課長より説明がありました。

1. 新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議について。

I. 特別支援教育を巡る状況と基本的な考え方

II. 障害のある子供の学びの場の整備・連携強化

III. 特別支援教育を担う教師の専門性の向上

IV. ICT 利用活用等による特別支援教育の質の向上

V. 関係機関の連携強化による切れ目ない支援の充実

2. 令和2年度第3次補正予算について

I. 感染症対策等の学校教育活動支援事業（334億円）

1校当たりの上限額：80万円～240万円

II. GIGAスクール構想の拡充（209億円）

○児童生徒の端末整備支援 今まで小・中学校までであったが、高校と支援学校にも整備していく

- 学校ネットワーク環境の全校整備
- 学習系ネットワークにおける通信環境の円滑化
- GIGA スクールサポーターの配置
- 緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備
- 3. 令和3年度予算案について（発達障害関連を抜粋）
  - ①切れ目ない支援体制構築に向けた特別支援教育の充実（予算案 35 億円 前年度 25 億円）
  - ②ICT を活用した障害のある児童生徒に対する指導の充実（予算案 0.7 億円 新規）
  - ③切れ目ない支援体制整備充実事業  
(予算案 24 億円 前年度 19 億円)
  - ④特別支援教育就学奨励費（負担金・補助金・交付金）  
(予算案 124 億円 前年度 124 億円)
  - ⑤発達障害の可能性のある児童生徒に対する支援事業  
(予算案 0.5 億円 前年度 1.3 億円)
  - ⑥特別支援教育に関する実践研究充実事業  
(予算案 0.3 億円 前年度 0.7 億円)

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 梅沢理事より、「特総研が LINE をはじめたので活用して欲しい」とのお話がありました。

特総研への HP アクセスは、「nise」で検索。

## 誰もが参加できる全国LD親の会を実現するために～デジタル化の取り組み～

これまで全国LD親の会の行事は東京・大阪に集中していましたが、全国各地の皆様に参加していただきたいと、2020年度は北九州市で公開フォーラムを開催しました。当初は、会場に多くの参加者を集め行う予定でしたが、COVID-19(新型コロナウイルス)の感染拡大により、会場参加者は最低限にして、オンライン配信を中心に行いました。今後も当分の間、大規模に集合することや大勢で会話することも自粛の対象になることが予想されます。そのような状況でも、多くの方に参加していただけるよう、全国LD親の会では様々なデジタル化に取り組んでいます。

### オンライン会議システムの活用

全国LD親の会では2年前から、役員間の連絡や評議員会開催のためにオンライン会議システムを導入し、利用を始めました。また、その活用を各ブロック・各親の会に広げています。各会での勉強会や打ち合わせ・おしゃべり会のオンライン利用を積極的に広げていただけますようお願いいたします。

### 講演会のオンラインウェビナーによる配信

全国LD親の会主催の講演会や公開フォーラムは、今まで会場に行かないと聴くことができませんでした。2020年度の公開フォーラムではオンラインウェビナーを導入することにより、多くの方々のオンラインでの聴講が可能になりました。実際、今回の公開フォーラムでは100人を超える会員の方々に、講師の先生方や当事者の方の貴重なお話を自宅で視聴していただくことができました。

### クレジットカード決済システムの導入

今まで、全国LD親の会のフォーラム・支援員講座・冊子の販売等の金銭のやり取りは郵便局の振り込みを中心に利用していました。このため、支払い側から見た場合、たとえ1000円の支払いをする場合でも数百円の手数料が生じていました、また、金融機関に行くという手間も負担になっていました。このような状況が続くと、結局、全国LD親の会の活動の足を引っ張ると考え、手数料が安い決済システム(クレジットカード決済)の導入を行いました。支払い手数料も数%程度でかつ、支払いもオンラインで行えます。新決済システムの導入により、参加者・購入者の利便性を高めていきたいと考えています。

### 講演のビデオ(オンデマンド)配信

オンラインウェビナーは便利なツールですが、その時点で行っている講演しか配信できません。しかし、講座等については、繰り返し視聴したい・受講者の好きな時間に観たいという要望には対応できません。そこで、ある一定の期間内ではありますが、動画配信システムによりビデオ(オンデマンド)配信を行うことにしました。

2021年度の特別支援教育支援員養成講座から本格的に導入する予定です。これにより、これまで限られた地域の方しか参加できなかった支援員養成講座に、北海道から沖縄まで全国各地の方が参加できるようになります。多くの参加をお待ちしています。なお、試験的に6月の公開フォーラムのオンデマンド配信も行う予定です。

### ホームページの改訂

全国LD親の会のホームページの改訂を行い、より親しみやすくすっきりとしたホームページに2021年4月より、リニューアルしました。また、内容の整理を行い、同じ内容の重複掲載をなくし、目的の記事を探しやすくなりました。

最後に、全国LD親の会事務局の業務もコロナ感染予防のため、リモートワークができるように環境を整えました。今後も全国LD親の会では多くの皆さんに参加していただるために、運営を工夫していきます。今後ともご協力をお願いいたします。

### 各会のデジタル化の試みを紹介します

#### ○神奈川 にじの会

Zoomによる運営委員会の他に、2回の勉強会を行いました。1回目は、10月18日に中高生の保護者対象に「高校卒業後の進路」について2時間ほどお話しいただきました。参加者は会場22名、Zoom3名でした。2回目は、10月25日に「きょうだい支援の必要性とその支援」の講演部分の1時間ほどを全国の会員に配信しました。参加者は会場8名、Zoom11名(内、全国5名)でした。

#### ○茨城 星の子

オンラインおしゃべり会、ゆるゆる勉強会等。LINEを使ったおしゃべり会もしています。

#### ○東京 けやき

Zoomとメーリングリストの併用にて例会活動再開。

#### ○東京 ルピナス

今まで、入会希望の方には茶話会などに参加していただき、活動内容などの話をしてから入会を判断していました。今年度は茶話会などの開催ができないため、Zoomを利用し、スタッフと話をしてから判断していただきました。3月にZoom学習会を実施。



## ○長野 よつ葉の会

10~12月各支部でZoomおしゃべり会開催。1月に「発達障害のままhappyに暮らす」本田秀夫氏、「長野県の医療について」樋端祐樹氏の講演会を会員限定でオンラインにて配信しました。

## ○愛知 かたつむり

会員対象に情報提供を目的に「かたつむりメール通信」を始めました。オンラインおしゃべり会や会議・講演会をオンラインでも開催しました。オンライン講演会の前にZoomの練習をする機会を作りました。インターネット環境がなかったり、苦手な方のために、オンライン研修会と一緒に受講する場を設けました。

## ○大阪 おたふく会

ペアレント・トレーニングでZoomを活用し、会場と自宅をオンラインでつなぎ開催しました。会場参加者にもZoomの使い方レクチャーを行いました。工夫した点は、ホームワーク報告を毎回事前に回収して、見やすい画面にして当日共有したことです。ロールプレイングをどう実施するかが今後の課題です。

## ○兵庫 たつの子

近畿ブロック会議でZoomを体験していたこともあり、運営委員会を開始するためにZoomの練習回を数回準備して、オンライン運営委員会を開催することができました。新しい経験に希望を感じました。しかし、当日の通信状態や機器の状況で声が聞こえなかったり、途中で通信が切れたりする事もあり毎回不安もあります。会員の年齢層が高いからか、Zoom参加がなかなか広がらないのが悩みですが、会場参加の時にZoomのアプリを実際に取る機会をつくるようにしました。オンラインによる進路相談交流会や懇親会を開催。感想として、「移動時間の短縮や交通費削減ができる良かった」との声が多くありました。交通手段が大変な地域の会員の参加もありました。しかし、アドバイス等を考えると時間と人数の限界もあり、事前に会員さんに聞きたいことなどを確認。また、自宅参加の為、家族や子どもがいると話題によっては話しづらい場合もありましたが、反対に「子ども自身から質問ができる良かった」との意見もありました。

## ○岡山 はあとりんく

子どもたちが参加できる活動として、Zoomの機能を体験したり、学生ボランティアさんに入ってもらって、オンラインで面白いゲームをする会を定期的に開催しました。写真は、以前からはあとりんくのO-iPad(タブレット・スマホ活用の自主研修会)に講師で来てくださっている香川県教育センターの近藤創先生に講師をお願いして、「Zoomで遊ぼう」を開催した時に、Zoomのホワイトボードの使い方を教わって、みんなで一枚のホワイトボードに描きこんでいったものです。真ん中のドラえもんは、参加者が一筆ずつ順番に描いて完成しました。



## ○北九州 すばる

Zoomを使って役員会(3回)と茶話会(2回)を行いました。

### <リモートのメリット>

- ・お子さんが小さくて家から出られない人も参加できる。
- ・台風や雪などの天候に左右されず開催できる。
- ・小人数でも開催できる。
- ・リモートのデメリット>
- ・電波状況により、接続に苦労する。
- ・顔出しをしない人もみえるので、表情とかがわからず表情などで察しづらい。
- ・子どもや家族が近くにいるので話しづらい。発達障害というワードも出しづらい。
- ・同時に話されると話がこんがらがるので、進行役がファンタリーションをしっかりしないといけない。
- ・参加している人全員に悩みが聞かれてしまう。対面だと隣の人と個別に話していたことなど。

## ○熊本 めだか

Zoomを利用してのおしゃべり会を3回取り組みました。1回目は、会員さんへメールで参加希望の日時を呼びかけましたが、残念ながら参加希望者ゼロに終わりました。そこで、2回目、3回目は午前中と夜で日時を指定して行いました。両日とも参加者は3名と少ない人数でしたが、その分じっくり話をすることができました。

### 参加者が少ない理由としては

- ・オンラインのやり取りは敷居が高いと感じる。
- ・家族がいる中でのおしゃべり会は会話が聞こえてしまうため話しづらい。
- ・会って顔を見ながら話をしたい。(これが一番多い意見でした)

まだまだコロナ禍は続きそうなので、1人でも多くの方が参加できるように工夫をしていきたいと思います。

## ホームページをリニューアルしました！！

今回のリニューアルでは、より利用しやすくわかりやすいホームページとなるよう、ページ構成やデザインに工夫を重ねました。パソコンの他にスマートフォンやタブレットからも快適にご利用いただけるようになっています。これからも、引き続き皆様の役に立つ情報の提供や内容の充実に努めてまいります。

「ブックマーク」「お気に入り」などへのご登録、よろしくお願いします。

NPO 法人全国 LD 親の会 HP <http://jpald.net/>



## 発達が気になる子のモヤモヤ子育てヒントブック ～親の会30年の経験から～

発行:NPO 法人全国LD親の会

1991年2月に「全国学習障害児・者親の会連絡会」として歩み始めた全国LD親の会。おかげさまで30年活動を続けてまいりました。LD等発達障害がある子をどう育てていけばよいのか、会員どうし情報交換したり、専門家の先生方から教えていただいたことを実践したりしてきました。そうした私たちの子育ての経験をヒントブックとしてまとめています。2021年度、ヒントブックをシリーズ化して出版する予定です。

発達障害のある子どもの伴走者として親が経験してきたことの中には、子どもの発達段階に合わせて、常に形を変えながらも気をつけなければいけないことがたくさんあります。子どもが成人した時に子育て中を振り返ってみて、「こうすれば良かった」という反省もあれば、「これで良かった」と思うこともあります。目の前の子育てに追われ、子どもが成長していく先々のことが全く見えず、不安を感じている保護者のかたの参考になればと思います。  
＊幼児期から小学校期までの子育てシリーズ(予定)

- i ) 生活の基礎作り ii ) 集団生活 iii ) 自分の世界を広げる iv ) ことばと学習
- v ) 家族・地域・保護者 みんなと繋がる

※詳細については、HP等に掲載します。

全国LD親の会会員は、所属されている会を通してご連絡します。

### ●NPO法人全国LD親の会 活動報告

2020年

- 12月6日 第16回 JDDnet 年次大会(オンライン開催)
- 12月12日 JD設立40周年記念企画(オンライン開催)

2021年

- 1月29日 全国特別支援教育推進連盟第4回常任理事会(オンライン)
- 2月05日 全国特別支援教育推進連盟第4回理事会(オンライン)
- 2月21日 第19回公開フォーラム(北九州)



### ●第45回理事会報告

理事会の決議があったとみなされた日時:2021年2月7日 12:30 - 14:20

開催場所:電磁的記録によるもの

[決議] 第31回評議員会における審議結果を審議し、全員一致でこれを承認した。